

令和4年1月24日	
所 属	包括支援担当
所属長	吉田 雅明
電 話	06-6489-6356

**～最期まで自分らしく在宅で地域で暮らすために～**  
**兵庫県立尼崎小田高等学校 2月5日・3月5日在宅療養ワークショップを開催**

兵庫県立尼崎小田高等学校が「最期まで自分らしく在宅で地域で暮らすために」をテーマに在宅療養ワークショップを開催します。

在宅療養や看取り(みとり)などをテーマに学習したことを題材として、生徒自らがシナリオを作成した演劇と医師監修で作成されたフレイル予防体操の発表及び、人生の最期について考える「もしバナゲーム」を参加者とともに実施します。同校生徒と地域住民の方々が一緒に人生最期をどのように迎えたいかを考え、これから先の人生を楽しく見つめなおすワークショップとなっています。



昨年の在宅療養ワークショップの様子

## 1 日時・場所

- ① 日 時：令和4年2月5日(土)  
 午前9時30分(受付午前9時)から11時30分まで  
 場 所：小田南生涯学習プラザ3階ホール(尼崎市長洲中通1丁目6番10号)
- ② 日 時：令和4年3月5日(土)  
 午前9時30分(受付午前9時)から11時30分まで  
 場 所：大庄北生涯学習プラザ3階ホール(尼崎市大島3丁目9番25号)
- ※内容は、両日とも同じで別紙資料のとおりです。

## 2 開催の概要

申込み：不要  
 参加費：無料  
 主 催：兵庫県立尼崎小田高等学校 看護医療・健康類型(2年生)  
 共 催：尼崎市 総合政策局 小田地域課 大庄地域課  
 サポーター：尼崎市医療・介護連携協議会  
 (事務局：尼崎市 健康福祉局 包括支援担当)

## 3 参考

兵庫県立尼崎小田高等学校の看護医療・健康類型「看護医療基礎」選択の2年生(32名)は、尼崎市医師会や尼崎市ケアマネージャー協会などの医療・介護の17団体で構成される「尼崎市医療・介護連絡協議会」の構成員が講師となり、全10回の「在宅療養」「看取り(みとり)」「人生会議(ACP)」の学習を平成30年度から実施しており、そこで学んだ内容を地域の皆さんに伝えるための在宅療養ワークショップを毎年開催しています。

# 尼崎小田高校

## 在宅療養

## ワークショップ

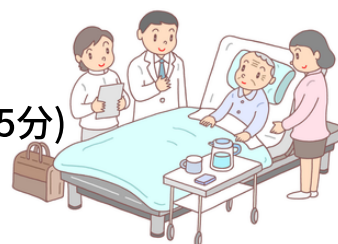
～最期まで自分らしく在宅で地域で暮らすために～

高齢者のうち、約6割の人が人生最期まで自宅で暮らし続けたいと考えています。しかし「ホントに大丈夫かな？」と、漠然とした不安を抱えている方もいらっしゃるのではないでしょうか。そういう疑問に答えるために、本校の看護医療・健康類型「看護医療基礎」選択の32名が、尼崎市医療・介護連携協議会の支援を受け、在宅療養について1年間学んできました。その学んだ内容を地域住民の方に発表すると共に、「これから先の人生を楽しく見つめなおす」そんなワークショップを開催します。高齢になって病気になっても、最期まで自分らしく家で暮らすために、在宅療養を多職種が支える体制や選択肢があるということを知っていただき、人生最期をどのように迎えたいかを本校の「看護医療・健康類型」の生徒と一緒に学び、考えていただけませんか。ぜひ、多くの方のご参加をお待ちしております。

**開催日** 令和4年2月5日 (土) 9:30～11:30

**場所** 尼崎市立小田南生涯学習プラザ

尼崎市長洲中通1丁目6番10号(JR尼崎駅南口より東へ徒歩5分)



**対象者** どなたでも (お申し込み不要)

## プログラム

- ① 受付開始 (9:00～)
- ② 開会行事 (9:30～9:45)
- ③ フレイル予防体操 (9:45～9:50)
- ④ 劇 ACP アドバンス・ケア・プランニング  
～一人一人が自分らしく～ (9:50～10:20)
- ⑤ 休憩 (10:20～10:30)
- ⑥ 「もしバナゲーム」自分の最期について考える (10:30～11:15)
- ⑦ 「尼崎市医療・介護連携協議会」からのまとめ、閉会行事 (11:15～11:30)

主催：兵庫県立尼崎小田高等学校 看護医療・健康類型 (2年生)

共催：尼崎市 総合政策局 小田地域課

サポーター：尼崎市医療・介護連携協議会 (事務局:尼崎市健康福祉局 包括支援担当)

(連絡先) 兵庫県立尼崎小田高等学校 看護医療・健康類型長 福田秀志 (尼崎市長洲中通2-17-46)

TEL:06-6488-5335 FAX:06-6488-5337 メール:fukuda\_hideshi@hyogo-c.ed.jp

尼崎小田高校

在宅療養

ワークショップ

～最期まで自分らしく在宅で地域で暮らすために～

高齢者のうち、約6割の人が人生最期まで自宅で暮らし続けたいと考えています。しかし「ホントに大丈夫かな？」と、漠然とした不安を抱えている方もいらっしゃるのではないでしょうか。そういう疑問に答えるために、本校の看護医療・健康類型「看護医療基礎」選択の32名が、尼崎市医療・介護連携協議会の支援を受け、在宅療養について1年間学んできました。その学んだ内容を地域住民の方に発表すると共に、「これから先の人生を楽しく見つめなおす」そんなワークショップを開催します。高齢になって病気になっても、最期まで自分らしく家で暮らすために、在宅療養を多職種が支える体制や選択肢があるということを知っていただき、人生最期をどのように迎えたいかを本校の「看護医療・健康類型」の生徒と一緒に学び、考えていただけませんか。ぜひ、多くの方のご参加をお待ちしております。

開催日 令和4年3月5日 (土) 9:30～11:30

場所 尼崎市立大庄北生涯学習プラザ  
〔尼崎市大島3丁目9-25〕



対象者 どなたでも (お申し込み不要)

## プログラム

- ① 受付開始 (9:00～)
- ② 開会行事 (9:30～9:45)
- ③ フレイル予防体操 (9:45～9:50)
- ④ 劇 ACP アドバンス・ケア・プランニング  
～一人一人が自分らしく～ (9:50～10:20)
- ⑤ 休憩 (10:20～10:30)
- ⑥ 「もしバナゲーム」自分の最期について考える (10:30～11:15)
- ⑦ 「尼崎市医療・介護連携協議会」からのまとめ、閉会行事 (11:15～11:30)

主催：兵庫県立尼崎小田高等学校 看護医療・健康類型 (2年生)

共催：尼崎市 総合政策局 大庄地域課

サポーター：尼崎市医療・介護連携協議会 (事務局:尼崎市健康福祉局 包括支援担当)

(連絡先) 兵庫県立尼崎小田高等学校 看護医療・健康類型長 福田秀志 (尼崎市長洲中通2-17-46)

TEL:06-6488-5335 FAX:06-6488-5337 メール:fukuda\_hideshi@hyogo-c.ed.jp